

## PRESS RELEASE

報道関係各位

2025年6月16日

ビーワイディージャパン株式会社

# BYD、関東鉄道に大型 EV バス「K8 2.0」4 両を納入 6 月 9 日（月）より茨城エリアで運行開始

- BYD 大型路線電気バス「K8」4 台を関東鉄道に納入し、茨城県内 4 エリアで運行開始
- 充電用 USB ポートの増設やドライバー異常時対応システムの搭載、室内のフルフラット仕様など、乗車時の利便性と運行時の安全性を大幅に向上。



水戸、土浦、つくば中央、守谷の各路線で運行を開始する BYD 大型 EV バス「K8 2.0」

ビーワイディージャパン株式会社（本社：神奈川県横浜市、執行役員 副社長：石井澄人、以下：BYD ジャパン）はこのたび、関東鉄道株式会社（本社：茨城県土浦市 代表取締役社長：登嶋進）に、BYD の大型 EV バス「K8 2.0」を 4 両納入し、水戸、土浦、つくば中央、守谷の各営業所管内で、2025 年 6 月 9 日（月）より順次運行を開始しました。

### 【運行地域】

- (1) 水戸営業所管内（水戸市・茨城町・小美玉市・石岡市など）
- (2) 土浦営業所管内（土浦市・つくば市・阿見町など）
- (3) つくば中央営業所管内（つくば市・土浦市・取手市・牛久市など）
- (4) 守谷営業所管内（守谷市・取手市・つくばみらい市・常総市・坂東市など）

「K8 2.0」には、アラウンドビューモニターが設置され、運転士の安全運転をサポートするほか、スマートフォンなどの充電用 USB ポートを増設したことで、お客様には長時間でも快適なご乗車を提供できます。「K8 1.0」型と比較し、より薄く、大容量化したブレードバッテリーを採用したことで室内がフルフラット仕様となり、航続可能距離も向上しました。また、EDSS（ドライバー異常時対応システム）を搭載し、乗務員に体調不良等の異常が発生した際、運転席及び客席上部に設置された非常停止スイッチを押すことで制動が開始され、徐々に速度を落として停止することができます。

## ■BYDの電気バス事業について

BYDの電気バスは、2015年から日本への導入が始まり、今年で10周年を迎えました。今では3タイプの電気バス（小型：J6、中型：J7、大型：K8）を取り揃え、すべて日本の路線バスに求められる法的要件および基準に適合しています。現在、BYDは国内を走る電気バスの約8割を占めるシェアを誇り、北は北海道から南は沖縄までの幅広いエリアで、市民の移動を支える存在として日々活躍しています。BYD電気バスの大きな特長は、BYDの最新技術で作られた安心・安全なリン酸鉄リチウムイオンバッテリーを搭載していることに加え、力強いモーターによる発進加速と高い静粛性、さらには、走行中は一切、二酸化炭素を排出しない環境に配慮した、クリーン・モビリティであることです。また、公共交通に欠かすことのできない高い安全性を確保するために、バッテリーを車体後部と天井部分に分散して配置することに加え、後輪を駆動する強力な電気モーターをホイールの内側（インホイール式）に配置しています。これにより、段差のない低床フロアと後方まで続くフラットな床面を実現し、乗降時ならびに車内での移動が安全に行えるようになりました。

BYDはグローバルで累計約9万台のEVバスを納入しており、これからも世界中の公共交通の電動化を後押ししてまいります。

## ■BYD「K8 2.0」の主な特長（BYD ホームページより抜粋：<https://byd.co.jp/products/k8/>）

<p>航続距離 約240km</p>  <p>240 km</p> <p>240kmの航続距離を誇り、長距離の路線バスにも対応します。 ※冷房起動時</p>	<p>耐久性に優れた 信頼の品質</p>  <p>ボディはWVTA（統一型式認証制度）に適合。部品点数が少なく、優れた耐久性を実現しています。</p>	<p>コストメリットの高い 優れた経済性</p>  <p>導入コストのほか、ディーゼル車よりも部品点数が少ないため、メンテナンス費用を抑えられるなど、ランニングコスト削減も期待できます。</p>	<p>緊急・災害時も 地域に電気を供給</p>  <p>災害時には電源供給ステーションにもなるほか、被災地に移動して冷暖房完備の避難所としても活躍します。</p>
<p>乗客目線で考えられた スムーズな加速</p>  <p>インホイールモーターを搭載。プロペラシャフトを介さないダイレクト駆動で、大型ボディを滑らかに加速させます。</p>	<p>誰でも乗降しやすい 低床構造/フルフラット</p>  <p>電気バスならではの広い低床構造に加えて、K8は後部エリアフルフラットを実現し、ノンステップバス認定を取得しています。子どもから高齢者まですべての人が乗り降りしやすい設計になっています。</p>	<p>子どもからシニアまで 静音性の高い乗り心地</p>  <p>急発進を抑制し、静かで揺れの少ない乗り心地を実現しました。乗客や乗務員、地域住民の皆さまに、走行音によるストレスを与えません。</p>	<p>乗客の皆様に心地よい 広々とした車内空間</p>  <p>天井の高い広々とした空間に、ゆとりあるシートレイアウトを採用しました。最大で80名の乗車が可能です。（都市型）</p>

※本リリースの掲載内容は画像を含め、2025年6月16日（月）現在の情報です。内容は変更になる場合がございますので、予めご了承ください。

### 本件に関するお問い合わせ：

BYD Japan Group お問い合わせフォーム：<https://byd.co.jp/contact/>